



音楽Ⅲ選択者によるクリスマスコンサート



2025年12月23日
今日の午後、保護者懇談会の時間を活用して、音楽室では3年生の音楽Ⅲ選択者による「クリスマスコンサート」が開催されました。

司会は選択者の一人、山上くん。落ち着いた語り口で会場を和やかに包み、温かい雰囲気の中でコンサートが始まりました。



最初の演奏は、NHK番組「ピタゴラスイッチ」のテーマをリコーダーで。続いて「エーデルワイス」を同じリコーダーで演奏し、澄んだ音色が音楽室に広がりました。3曲目は、この季節ならではのハンドベルによる「きらきら星」。優しいベルの響きが重なり、クリスマス前の午後にぴったりの一曲となりました。続く合奏「上を向いて歩こう」の準備の間には、会場の皆さんにお菓子が振る舞われ、音楽室がさらに和やかな空気に包まれました。そして演奏された「上を向いて歩こう」は、生徒たちの思いが重なり、前向きな気持ちを届けてくれる一曲となりました。



その後、この夏に吹奏楽の県大会へこのメンバーで出場した際の映像「ケルト民謡による組曲」が上映され、当時の努力と熱気がよみがえりました。



その後、この夏に吹奏楽の県大会へこのメンバーで出場した際の映像「ケルト民謡による組曲」が上映され、当時の努力と熱気がよみがえりました。

続いて披露されたのは、打楽器アンサンブル「クラッピングカルテット第1番」。リズムの重なりが心地よく、音楽の楽しさが伝わる演奏でした。最後は、会場の皆さんと一緒に「ジングルベル」を合唱。音楽室に響く歌声と笑顔が、クリスマス前のひとときを優しく彩ってくれました。

調理室では、いもけんぴ作りも進行中

音楽室で演奏が響く一方、調理室では「いもけんぴ作り」も着々と進んでいます。

昨日はサツマイモを細く切る作業を行い、今日はそのサツマイモを油で揚げ、砂糖を絡めて仕上げの一手手前まで進みました。調理室には甘く香ばしい香りが広がり、冬の午後にぴったりの温かい空気に包まれました。



明日は袋詰め作業を行い、25日のクリスマスの日には、全校生徒へプレゼントとしてお届けする予定です。

包んで届けた芋けんぴ 阿南さつまいもプロジェクト

2025年12月25日

芋けんぴのパッケージ作業

昨日、これまで準備を進めてきた芋けんぴのパッケージ作業を

行いました。

写真の通り、生徒たちが一つひとつ丁寧に袋詰めし、心こもった贈り物として仕上げてくださいました。

パッケージの面のデザインは、1年生の美術の授業で



生徒が制作した4種類のデザインです。

どれも個性があり、受け取る側が思わず手に取りたくなるような温かさがあります。芋の形をしたパッケージは、美術の小林先生によるデザインで、見た目にも楽しい仕上がりになりました。



美術室で「さつまいもプロジェクト いもけんぴパッケージデザイナー」と書かれたものが残されているのを見つけました。調理の工程ばかりに意識が向いてい

ましたが、小林先生が以前から生徒を巻き込みながら、パッケージデザインを考えてくださっていたことを改めて知り、とても嬉しく心が温まりました。



昨日の放課後、全校生徒に配布

当初は今日クリスマスの25日に配布する予定でしたが、「食べ物なので、できるだけ早く食べてもらった方がよい」との判断から、昨日の放課後に全校生徒へ配布を行いました。



生徒たちが手に取っていく様子に、準備してきた側としても嬉しさを感じました。その場で味わう生徒もいれば、家に持ち帰る生徒もいて、それぞれに楽しんでくれたようです。

自分たちで育て、切り、揚げ、包んだ芋けんぴ。その一連の流れが、阿南高校らしい協働の温かさを感じさせてくれる、とても素敵な取り組みとなりました。

阿南の未来を拓く、探究者たち ～地域探究Ⅱ 発表会～

2025年12月26日

本日の2・3時間目、3年生「地域探究コース」の集大成となる発表会を開催しました。阿南町をはじめとする南信州の自然や文化をフィールドに、生徒自らが問いを立て、歩き、考え抜いた成果を、代表4名が披露してくれました。本日はゲストとして、地域連携コーディネーターで町議会議員でもある尾崎さん、そして同じく町議の小澤さんにもご参加いただき、地域の先輩としての温かい視点からアドバイスを頂戴しました。(ありがとうございました。)

◆免許を取得し、命の最前線へ「動物の毛皮、骨格標本を作る」

トップバッターは、この探究のために自ら狩猟免許を取得し、猟友会にも入会したという驚くべき行動力の持ち主です。道路で命を落としたハクビシンの毛皮作りにおける「失敗」も、包み隠さ





ず報告してくれました。

現在は校舎周辺にも現れるイノシシをターゲットに準備を進めているとのこと。「一狩り行こう

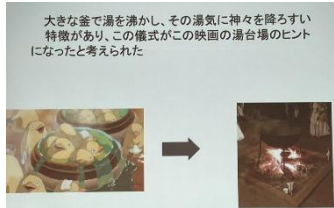


ぜ！」という言葉の裏にある、命への深い敬意を感じました。



◆千年の歴史を次代へつなぐ「郷土の復興と発展(霜月祭り)」

続く生徒は、自身の住む遠山郷の「霜月祭り」を探究しました。自ら保存会に所属し、この12月にも実際に出演した彼。神社によるスタイルの違いや、ジブリ映画『千と千隠し』のヒントになったという話を、実体験に基づき堂々と語りました。



大きな釜で湯を沸かし、その湯気に神々を降ろす特徴があり、この儀式がこの映画の湯台場のヒントになったと考えられた

◆描くことで自分を再発見「阿南をテーマに漫画を作ってみた」

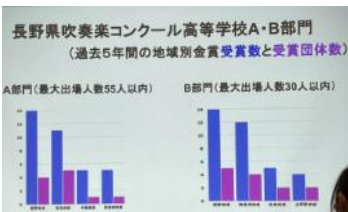
「絵を描くこと以外で私に何が残る？」という問いから探究をスタート。本格的な漫画制作のプロセスを解説しながら、自身の就職活動をテーマにした作品などを紹介。



就職活動の流れ(9ページデジタル)

◆「田舎で表現力の高い演奏ができるようになるためには？」

最後は、3年間吹奏楽部で活動し、最後は部員一人という環境で音楽に向き合い続けた生徒です。大会での「田舎くさい」という評価を原動力に、県内の入賞数分析や、多くの顧問の先生へのインタビューを敢行。これからも「最高の演奏」を追い求めていってほしいと思います。



発表した4名に共通していたのは、「自分自身の興味や悩みを、自身や地域というフィールドを舞台に、行動で答えを出そうとした」ことです。「地域探究」は、単なる調べ学習ではありません。正解のない問いに向き合い、自ら未来を切り拓く力を育む場です。



指導にあたった先生方、そして温かく見守ってくださる地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

地域連携コーディネーター・尾崎さんによる講評

地域連携コーディネーター・尾崎さんによる講評

支える一員として活躍してくれたことを、とても誇りに思います。

1学期の終業式では、7月の大阪・関西万博で、本校の生徒が「遠山郷の霜月まつり」を堂々と披露したことを紹介しましたね。そして今月(12月)からは、本物の霜月まつりが始まっています。南信州の木沢神社、熊野神社の霜月まつりに、同じ生徒が地元の皆さんとともに出演したと聞いています。

11月1日の郷土芸能鑑賞会では、下條歌舞伎の舞台にも、本校生が大人の方々と肩を並べて出演しました。普段なかなか見ることのない歌舞伎を、間近に鑑賞する機会にもなりました。学校の垣根を越えて協力し、南信州の文化を次の世代へつなぐ姿に、皆さんの成長を感じました。地域の伝統をつないでくれたことに、大きな拍手を送りたいと思います。

スポーツの世界でも、嬉しい知らせがありました。大リーグでは大谷選手、山本選手の活躍が日本中の注目を集め、私たちに元気と感動を届けてくれました。そして先週の全国高校駅伝では、長野東高校女子チームが、公立校として史上初の2連覇を達成しました。監督の横打先生は、かつて阿南高校で私と共に生徒を支えた仲間です。「挑戦」と「感謝」を大切にしている姿勢が、今も受け継がれていることを誇りに思います。

そして阿南高校でも、大切な「絆」が渡されています。旧生徒会長の西本さん、3年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。生徒会長齋藤さんを中心とした新体制は、すでに次の阿南高校をどうつくるか、話し合いを進めています。伝統を大切にしながら、新しい挑戦を期待しています。

ここで、皆さんに一つだけお願いがあります。毎日多くの生徒が利用している JR 飯田線・温田駅の木造駅舎が、老朽化と耐震のため、近いうちに建て替えられる方針です。昭和10年から地域を見守ってきた駅舎が姿を変える前に、阿南高校生として何かできることはないか、少しだけ心に留めておいてほしいと思います。

駅舎の清掃、ゴミ拾い、写真に残す、歴史を調べる、探究につなげる。皆さんの小さな行動が、地域の記憶を未来へつなぐ力になります。

世界ではAIなどの技術が進化していますが、霜月まつりの空気や、駅伝の絆に込められた想いを感じ取るのは、皆さん自身の「心」です。実体験から学ぶ力を、これからも大切にしてください。明日から冬休みです。3年生、進路に挑む人も、新しい準備を始める人も、それぞれの冬を大切に過ごしてください。また、1月28日の学習成果発表会に向けて、皆さんの探究成果を楽しみにしています。1・2年生は、今年度のまとめと来年度の進級準備を進めてください。阿南高校の次の一年をつくるのは、皆さん一人ひとりです。

年明けると干支は「午(うま)」です。馬のように力強く前へ進む3学期になることを願っています。寒さが厳しくなります。どうか健康に気をつけて過ごしてください。1月6日の朝校門で、そして始業式で、皆さんの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。

2025年度2学期終業式

2025年12月26日

皆さん、こんにちは。今日で、密度の濃かった2学期が締めくくりに迎えます。まずは、この長い学期を走り抜けた皆さんに、心から「お疲れ様」と伝えたいと思います。今学期、地域の伝統文化を